

ICTニュースレター

発行：ICT支援員 長井英夫

長谷先生 ✕ Qubena (キュービナ)



Qubenaは、AI（人工知能）を搭載した数学のアダプティブ・ラーニング教材で、生徒一人ひとりの理解度に応じた最適な問題を出題する河合塾のクラウドサービスです。スマホやタブレットでログインして学習を進めます。

最初に長谷先生からQubenaのIDとパスワードの説明があり「Qubenaを開いて」の急な展開で、私は生徒がまごつくと思いましたが、生徒同士で解決して、数名の生徒に長谷先生と私に対応するぐらいでした。実際にスムーズにiPadでQubenaを開いて課題を表示するところまで来ました。

そして長谷先生は生徒が見ることのないQubenaの先生用管理画面をプロジェクターで投影して、「先生はこんな感じでみんなの解いている状況を把握することができる！」と説明をしてから、改めて開始時間と終了時間を提示してスタートしました。

生徒の集中力も素晴らしく、直ぐに黙々と問題に向かっていました。特にiPadの限られた画面ス

ペースで数学の問題を解くのは難しくないか？と思って見ていると、「問題を解くためのメモ的なエリア」と「解答を書いたためのエリア」を引ひっぱり出したり下げたりして、iPadの画面上で書きながら答えを導き出します。

その姿はもう何年も前から操作していたかの感じで、Qubenaも生徒も頼もしい。

そんな最中、長谷先生は全体を見渡ししながら、考え込んでいる生徒に小声で解説をされていました。



また私には先生用管理画面を少し見せて、リアルタイムで生徒の進捗状況が把握できると、嬉しそうに説明をしてくださいました。

初めてのQubenaばかりの長谷先生とiPadを使い込んで解いている生徒たちにビックリした授業でした。



教えてICT 質問！

～新型プロジェクター編～

Q1. 「電子ペン」

新型プロジェクターには電子ペンが2本付いてます。この電子ペンの正式な名前は「インタラクティブペン」ですが、このペンを使ってどんなことができる？

Q2. 「iPadの投映」

教室PCは電源を入れるだけで投映されますが、新型プロジェクターにiPadを投映するためにはどうすれば良い？

Q3. 「2画面表示」

新型プロジェクターは2画面投映ができます。さっそくiPadをケーブルでつないでみると、左半分は教室PCの画面が表示、右半分にiPadの画面が表示されるハズなのですが、なぜか左半分がブルー画面です。さて、この時に最初にする操作は？

Q4. 「タイマー」

新型プロジェクターにはタイマー機能も付いています。カウントダウン、カウントアップのどちらにも対応。アラームも鳴り、表示場所も自由に移動できます。このタイマーを表示させるのはどうすれば良いのでしょうか？

教えてICT 回答！

～新型プロジェクター編～

A1. 「電子ペン」

電子ペンは、教室PCのマウスとして使うことができます。マウスのクリック、ダブルクリック、そしてドラッグの操作が投映された画面上でできます。また描画モードに切り替えると、投映されている画面に書き込みができます。

A2. 「iPadの投映」

簡単にiPadを投映するのは、HDMIケーブルでiPadをプロジェクターにつなぐ。教室PCの電源が入ってなければ、それだけで投映されます。

既に教室PC画面が投映されていれば、画面を切り替えるだけです。切り替え方は投映画面右下にあるホーム（家のアイコン）を電子ペンで

クリックすると、どの画面に切り替えますか？と選択画面が表示されますので、iPadの画面を電子ペンでクリック！

A3. 「2画面表示」

投映画面右下にあるホーム（家のアイコン）を電子ペンでタップして、「2画面」を選択するだけです。

右に教室PC画面、左にiPadの画面を表示することができます。左右の画面を入れ替えることもできます。

A4. 「タイマー」

まだキッチンタイマーを使っていますか？

新型プロジェクターのタイマーは大きく表示されるので生徒も時間が見れます。当然アラームも鳴ります。使い方は簡単です。投映画面下の「・・・」を電子ペンでクリック。表示されたメニューからタイマーを選択するだけです。

校内研修開催のお知らせ

いよいよ校内研修を開催します。ぜひ奮ってご参加をお願いします。また都合が合わないなどありましたら、ご希望の日時を仰ってください。調整いたします！

開催スケジュール

- 10月15日（木） 15:50～16:30 新プロジェクターの活用
- 10月20日（火） 15:50～16:30 Zoom入門
- 10月23日（金） 15:50～16:30 Classroom入門

あとがき

こんにちは。ICT支援員の長井英夫です。所属は今井書店です。書店がICTというイメージはあまり無いかも知れませんが、実は凄い人材が居たりします。

見えているところで紹介させていただきますと、パソコン教室やプログラミング教室の運営、学校図書館システムの納品とそのサポートをしております。あと必然ながら社内システム構築やメンテナンスなどもICTが求められます。

何だか気がつくとも猫も杓子もICTで、この先どうなるのやらと思ったりしますが、それが時代の流れなんでしょう。

流れに身をまかせながら、新しき時を待つのも楽しいかな、と思い描き生きてみるのもありでしょうね。なんせICTは Information and Communication Technology ですから、その先には良い出会いが待っているかと。

これを機会によりしくお願いいたします。

